

平常時と災害時の心がけ

水害に備えた、平常時の心得

①安全な避難路の確認を



避難所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

②非常持ち出し品の事前準備を



避難するときの荷物は必要なもののみとし、事前に準備しておきましょう。

③高齢者などの避難に協力を



高齢者・子ども・病人・障がいのある方などは、早めの避難が必要です。こういった方の避難に協力しましょう。また、こういった方の避難をお手伝いする地域ぐるみの取組（災害時要援護者支援制度）にも協力してください。

④動きやすい服装、集団での避難



避難するときは、動きやすい服装で、近所の方同士で声を掛け合って一緒に避難しましょう。杖などを持って、側溝や排水路などに落ちないように注意しましょう。

避難時の心得

①正確な情報収集と早めの行動を



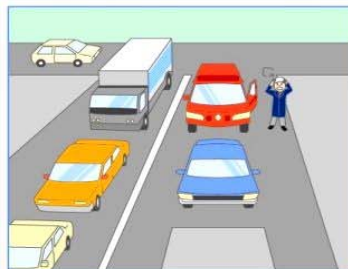
ラジオ・テレビで最新の気象情報や避難情報などの災害情報を入手しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに行動することを心がけましょう。

②避難の呼びかけに注意を



危険が予想される状況となった場合には、市役所や消防団などから避難の呼びかけをすることがあります。避難の呼びかけがあった場合には、それに従ってください。

⑤自動車での避難は危険



自動車での避難は、浸水して動けなくなる危険があるのでやめましょう。

⑥道路に車を放置しない



水防活動の妨げになりますので、自動車を道路に放置しないようにしましょう。